

経営革新による販路開拓と事業承継

湯前町商工会 國政 孝明

事業者名：くりはら写真場

業種：小売業

担当者コメント

地方の人口減少により既存の経営方法では経営の継続が出来なくなっている。厳しい経営環境下では、柔軟なアイデアが必須となっていることを痛感した。



店舗外観

支援テーマ

	創業
<input type="radio"/>	経営革新
	地域資源活用・新連携
	農商工連携・6次産業
	販路拡大・販路支援
	海外展開・海外販路開拓
	事業再生・再チャレンジ
<input type="radio"/>	事業承継
	ものづくり
	雇用・労務関係
	資金繰り
<input type="radio"/>	持続化補助金
	その他

支援前の課題

【企業概要】

昔ながらの町の写真館を家族で営み、創業56年。近年の少子高齢化とコロナ禍で、あらゆるイベントが自粛され、集合写真や記念写真の撮影依頼が激減している。また、少子化により小中学校の卒業アルバム作成による利益が大幅に縮小している。

(創業) 昭和42年10月

(代表者の年齢) 83歳

(現状分析)・強み⇒地域唯一の写真館で撮影や現像の依頼は、シェア80%以上である。

・弱み⇒依頼が重なったときに撮影技術を持っている人員の確保が難しい。

・機会⇒主要道路沿いで、町の中心部に店舗があるため立地条件は良い。

・売れ筋商品・顧客ニーズの把握⇒写真現像中心。地域住民との強いつながりでの把握。

・競合する店舗等⇒近隣町村に1件、熊本市内の大型チェーン店。

【支援課題・支援計画】

(支援課題) 人口減少による売上げの減少。事業承継。

(短期計画) 新たな取り組みによる売上げ増加を図る。

(中長期計画) 後継者の得意分野を伸ばし、事業承継を行うことで、新たな顧客の獲得を目指す。

支援内容

フェーズ1 経営革新支援

- ・新規顧客獲得と売上額の増加を図るために「動画と写真を活用したオリジナル撮影サービスの開発」として経営革新計画書の作成支援を行い、申請し承認された。
- ・既存の写真館業務は、来店を待っているだけであったのを、都会に住む若い年代に、田舎の両親や祖父母の写真や地元風景の写真や動画を送ることで、見守りとしても活用してもらう。
- ・異業種連携によりモーターサイクルの動画撮影を行う。ツーリング風景をドローンで撮影することで、田舎の自然の中を走る姿を記念に残してもらう。

フェーズ2 持続化補助金申請支援

- ・経営革新計画で示したドローンによる撮影のために持続化補助金の計画書作成支援を行い申請を行った。
- ・モーターサイクルの動画撮影としての利用を見込んでいたが、実際には企業のホームページ掲載用ドローン撮影が増えている。今後は、学校行事などをドローン撮影することで卒業アルバムの付加価値をつけていく。

フェーズ3 事業承継支援

- ・経営革新計画、持続化補助金申請など実際の経営は、後継者である長男が主体となっている。
- ・令和5年度をめどに、新たな写真館の可能性を模索し、事業承継を図っていく。そのための税務や財務の移行に関する支援や事業承継引き継ぎ補助金を活用した新たなサービスの開発についても支援していく。

(進捗・成果)

「モーターサイクルの動画撮影」新サービスの提供において売上の数値的成果については、まだあがっていないが、顧客の反応はよかった。また10月に事業承継を行った。今後は、ドローンでの動画撮影サービスを中心に、都会に出ている子供へ田舎にいる親や家の周り、町の状況を撮影し見守りを含めた事業を行いたい。事業承継引き継ぎ補助金は、来年度申請予定。



—ツーリング撮影—



—店内撮影スタジオ—

事業者様の声

後継者である自分と一緒に、将来のあるべき姿を模索し、事業承継を見据えた様々な補助金申請に関する支援や経営革新計画書の作成支援などサポートしていただいたことで、新しいことにチャレンジすることが出来ました。

取組の中で、おすすめしたい自社のアピールポイント

記念写真や集合写真などの撮影だけでなく、ドローンを使った動画で家族やグループの思い出を残すことが出来ます。

企業からの依頼も受けています。お客様の様々な依頼にできる限り応えていきたいと思っています。



—使用ドローン—